



岩室温泉街の住民らと協力し新たなまちづくりのため、篠田昭市長を表敬訪問した武蔵野美術大学の長尾重武学長（右端）ら＝8日、新潟市役所

# 岩室温泉の未来 ともにデザイン

武蔵野美大 学長ら市長表敬

新潟市の岩室温泉街の新たなまちづくりの「いわ  
住民らとともに同地区で  
むろのみらい創生プロジ

エクト」を行う武蔵野美術大（東京）の長尾重武学長らが8日、篠田昭市長を表敬訪問した。

プロジェクトは学生によるアート展の開催や同地区のシンボルマークのデザインなどを通じ、同地区の未来を考えていくというもので、文部科学省の本年度支援事業に選定された。同大はこれまでも二度、同地区でアート展を開いていた。

この日は長尾学長ら同大の五人と、同地区の団体代表ら五人が出席。長尾学長が選定の経緯などを説明した。

篠田市長は「アートによるまちづくりを提案し、実際に取り組んでもらえることは本当にありがたい。新しくできる西

蒲区にもいい刺激になる」と述べた。長尾学長は「岩室とはこれまでのアート展で培った信頼関係がある。三年と言わず、今後も長くお付き合いしていきたい」と話していた。